の採用効果 市水道局における「ウ チ」と「ウルトラワックス 人と管路整 備 の方向 ルポ

の現状や効果、管路整備の方向性などを伺った。(大阪新聞部・石上和弘) に前向きな姿勢を見せている。本紙では、同市水道局の担当者に製品採用 トラワックステープ」)を、管路塗装の代替品として活用するなど、採用 イドライン」(2023年3月改訂)に基づき、水道施設の適切な維持管 埋に取り組んでいる。 このほど、阿南電機の紫外線硬化型FRPシート(製 翌2:「ウルトラパッチ」)を用いて、 水管橋の空気弁や管体の劣化部を補 浮するとともに、 同社の高機能長耐久性防食防水テープ (製品名:「ウル 岡山県倉敷市では「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガ

のさらなる向上を

に位置する中核市で、水 **屋敷市は岡山県中南部**

の玉島給水区)において、 1916年7月から通水 道事業は旧玉島町(現在 浄水場4カ所、配水池・ 池、管路総延長約335 調整池87カ所、受水槽58 施設は取水場4カ所、

で給水人口4万4058 区域で、2023年度末 している。 給水区域は6 を開始したのを始まりと

人、1日最大給水量17万

らしき水道ビ

テープを管路塗装の代替に

ものの、管体 は問題ありま

せんでした。

ジョン―20

水。現在は一く 流水)と地下 (表流水・伏 源は河川水

田中係長

4・6点などを有し、水 改訂の『水道施設の点検 99・9%、有収率92・8 9%などとなっている。 3572立方
以、普及率 いては、2023年3月 用水路が市中に張り巡ら があります。これらにつ する橋梁添架管・水管橋 されています。このため、 所の水道施設台帳で管理 市内には大小約430カ

同でドローンによる点検 とともに、他占用者と共 るよう地区を分割し、職 80カ所は5年で一巡す 員による目視点検を行う

された。 からの漏水であると想定 弁の溶接部や管体電縫部

水管橋の劣化部を補強 016年と2021年の 「当該橋梁添架管は2 や汚れている は、塗装がや 定期点検で

げ、4つの取り組み姿勢 創る」との将来像を掲 水道がこのまちの未来を ~28年度)で、「倉敷の 期間の10年間(2019 19-」に基づき、計画 管・水管橋は委託で2年 『以上の重要な管路など 約50カ所ある口径400 に関するガイドライン』 を含む維持・修繕の実施 に設置された橋梁添架 検義務化などを踏まえ、 や2024年度からの点 に1回、その他の口径75

森兼副参事 と11の基本施策による具 体的な取り組みを行って 模な干拓が行われ、農業 本市は江戸期に大規

橋梁添架管•水管橋約3

部に折れ曲がりがあると

『以上で延長5 以以上の によるゆ75単口急速空気 漏水対策係長。

明するのは、田中誠司・ を実施しています」と説 〇〇亜鉛メッキ鋼管、延 長約9以)で、経年劣化 水管の橋梁添架管(Φ4 970年に布設された配 倉敷市水道局水道管理課 施設は、市街地にある1 今回漏水が確認された 2023年の調査では管 その後も空気弁溶接部付 認され、 いることや、溶接部の 高まりました。また、劣 体電縫部からの漏水が確 化部が縦断的に発生して 発生し、漏水のリスクが 近や管体電縫部でサビが で修繕しました。ただ、 一部を補修金具

> りました。さらに、断水 える範囲に影響を及ぼす を含む約1000戸を招 を伴う修繕は、 は対処できない状況にあ とで、従来の補修金具で る。また、水道技術研究 る新技術事例集(Aau センターの「水道におけ a—LIST)」にも登 田中係長は「当該橋梁

紫外線照射で硬化するこ 専門技術者が劣化部にF 明、近隣事業体での採用 同社の担当者からの説 討していました。その ました」(田中係長) せや詳細な説明を受けた 実績に注目し、問い合わ 水道展や製品営業による トラパッチ』について、 化型下RPシート『ウル 際、阿南電機の紫外線硬 不断水での修繕方法を検 結果、採用することにし ことが想定されたため、 RPシートを貼り付け、 「ウルトラパッチ」は、 ることができました」と 電縫部の補強を約2週間 に劣化していた溶接部・ 化などを行い、断水せず 処しながら、『ウルトラ う中で発生した漏水に対 てた後、阿南電機が橋梁 実施し、地元の管事業協 ず、期待通り延命化を図 パッチ』の貼り付け・硬 も漏水は確認されておら 添架管のケレン作業を行 会が現場の足場を組み立 1月後半から2月前半で 現在の経過状況において の工程で完了しました。 添架管の補修工事は今年

赗

730件の採用実績があ とで補修でき、水道や下 水道など多様な施設で約 局副参事兼水道管理課長 感想を述べる。 森兼久典·倉敷市水道

「ウルトラワックス



も管路の予防保全や延命 『ウルトラワックステー て、阿南電機の高機能長 提案を受け、 ルトラワックステープ』 耐久性防食防水テープ た橋梁添架管の塗装とし トラパッチ』を貼り付け は「地元の管事業協会の ブ』を採用しました。『ウ - 今回 『ウル 重防食•延命化が期待できる「ウル クステープ」 で施工した水管橋 がないことが大きな特長 しているところです」と テープ」は、常温固体の きる同製品の採用を検討 地元修繕業者でも対応で 化などに貢献できる良い が得られるため、管路を 程度)で十分な防食効果 を巻くだけで2。『厚の防 ス)が主成分で、テープ ワックス(石油ワック マイクロクリスタリン 必要な管路については、 替の1つとして、防食が 製品です。管路塗装の代 電動工具で削り込む必要 落とし(3~4種ケレン 調整は

手工具での

浮き

舗 耐用年数は40年)。 素地 食環境下でも長期間の防 食層を形成し、厳しい腐 となっている。 良効果を持続する(期待

路に、優先順位をつけな たいですね」と期待を客 る施工性や施工体制の向 テープ」は、維持管理の の更新には期間を要する 重点的に進めています。 要施設へ給水している管 きました。今後もさらな も、『ウルトラワックス す。このような観点から ため、状況に応じた延命 ただ、限られた予算内で 難所、防災拠点などの 性などについて、森兼副 格面での配慮もお願いし 命化にも取り組んでいま につながるよう、施工価 上とともに、需要の増加 措置を施しながら、長寿 がら、耐震管への更新を 参事は「老朽水道管をは じめ、災害拠点病院や避 助となる製品と確認で 水

並 業 產 新